

経営学専攻

よい循環づくりで経営と経営学の人材を養成

経営学研究科では、企業組織及び企業の諸活動、企業とそれを取り巻く環境との関連を研究しています。修士課程、博士後期課程ともに、昼間コースと夜間コース（社会人向け）を設けて、学問と実務のよい循環をつくりつつ、多様な人材を育成しています。特に、日本の私立大学の中で設立が早い方である社会人向け修士課程は、1992年設立以来、1,000名に肉薄する修了生を輩出しています。

現実と理論の往復運動を図る多様な授業が用意されています。企業の第一線で活躍される多様なゲストスピーカーをお招きして、現場の生の情報、最新の企業経営動向、最先端の事業動向をお聞きし、ディスカッションするワークショップ授業があります。また、現実と学問の流れを理解し、現実の問題がその知的な流れのどこに位置するかを把握し、理論と鋭い知見をもって企業経営の現実を分析する能力を徹底的に鍛える授業も提供されます。

修士・博士論文を執筆する機会も設けられています。論文指導で、指導教員は丁寧な指導を心がけており、少人数教育の強みを最大限生かして、教員と学生間に濃密なコミュニケーションが行われています。

なお、経営学研究科では、教員と在学生在に修了生も加わる良い循環づくりをめざしています。修了生がワークショップ授業のゲストスピーカーとして登壇して、生の情報や経験談を在學生と共有したり、教員になった修了生が在學生に知的な還元を行う例が少なくありません。教員、在學生、修了生が一緒に経営学と関連学問分野の重要文献を輪読するゼミナールも行われています。

アドミッション・ポリシー (学生受け入れ方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)	ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)
経営学研究科では、専門知識と経営学研究への意欲を有し、次のキャリアビジョンを持つ人材を広く求める。昼間・修士課程においては、優れた成果を上げられる研究・教育職、国際職業人の人材を求める。夜間・修士課程においては、企業やその他団体等で高度な経営課題に応えられる経営管理職・専門職の人材を求める。博士後期課程においては、研究者養成のための修士課程だけでなく、高度職業人養成のための修士課程の修了生を含め、独創性に富む専門研究者を目指す人材を求める。	昼間・修士課程では経営学（関連分野を含む）の研究に必要な方法論等を自主的により深く学ぶこと、また修士論文を作成できるようにすることを配慮して開講科目を設定する。夜間・修士課程では、複数の専門分野別のコースを設け、それぞれの専門分野にふさわしい独自の選択必修科目群を設置する。また、学生のバックグラウンドやニーズが多様であることから、経営学および関連分野の基礎的な科目を設置するとともに、他コースの科目も自由に履修できるようにする。さらに、少人数制による論文指導、コースレベルでの集団指導等を行い、実務経験と適切な理論、方法論を融合した修士論文作成をめざす。博士後期課程では、ステップ制を運営、実施すると共に、指導教員・副指導教員による研究指導と博士コースワークショップを充実化する。	所定の単位の修得により、以下に示す水準に達した学生に対して「修士（経営学）」、あるいは「博士（経営学）」を授与する。修士課程では、経営学分野（関連分野を含む）の多様な授業と、個別指導及びコース別集団指導に基づく修士論文の準備・作成によって、経営学分野（関連分野を含む）の研究能力、または高度の専門性を要する職業等に必要能力を有する。博士後期課程においては、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を十分備えている。



■ 昼間コース

経営学の基礎から応用までの理論的なアプローチに加え、現実の企業活動や社会現象を実証的に分析するためのさまざまな手法が学べます。また、個別指導を重視した教育を行っています。組織、人事、戦略、アカウンティング、ファイナンス、国際経営、マーケティング、経営史など企業経営の諸側面について幅広く研究できます。また、経済学や統計学に関する科目も開講。総合的に企業経営を捉える視点を養うことが可能です。高度な知識・理論を講義やディスカッションを通して習得、さらに、細やかな個別指導のもとで質の高い修士論文や博士論文を作成します。

■ 夜間コース

経営学専攻夜間コース（法政ビジネススクール：略称HBS）は、日本におけるビジネススクールの先駆けとして1992年に設置。実務に関するさまざまな理論が学べる5つのコースがあります。他コースや他専攻、他研究科の科目も履修可能。専門性と幅広い知識を同時に習得できます。

HBSでは、理論と実証に必要な知識を基礎から応用まで、少人数・双方向型の講義で習得。また、ゲストスピーカーを交えたワークショップで、企業経営の最先端の動向と実践的な知識やスキルを身に付けられます。修士論文の作成が必修であることもHBSの大きな特徴です。これまでの実務経験やHBSで学んだ知識は、修士論文を書き上げる過程で、真に学生の血となり肉となっていくます。

Graduate School of Business Administration
Major in Business Administration

募集人員：修士課程60名／博士後期課程10名
開講形態：（昼間コース）昼間開講／（夜間コース）夜間開講
キャンパス：市ヶ谷
入学者の職域：製造、情報通信、金融、不動産、技術サービス、教育、医療福祉、サービスなど

■ コース制

企業家養成コース

創業を志す人、社内企業家、後継経営者、企業家の支援に携わる人の養成を目的としたコースです。多彩な科目のほか、実際の企業家を招いてのワークショップを開講。企業や事業を起こして直面した経営上の問題点や課題、その解決方法などをお話しいただき、その後は、教員や学生を交えて活発なディスカッションを展開しています。

人材・組織マネジメントコース

人事と組織に関わるトピックスを幅広く学べます。また、実証研究を重視し、組織のデータの発掘や職場の事例研究、面接調査、企業・従業員などへの聴取、アンケート調査や統計データの解析など研究目的に応じた研究手法を指導します。実務家による講義、ケーススタディーも行っています。

アカウンティング・ファイナンスコース

2つのサブ・コースを立てて、企業会計とファイナンスの先端的知識を体系的に学びます。アカウンティング・サブコースでは、経理人の再教育とレベルアップを主眼に会計とその関連領域を学びます。ファイナンス・サブコースでは、企業財務および証券投資に関する理論とその応用手法を学びます。

国際経営コース

国際的な観点から経営の理解を深めたいビジネスパーソンを対象としたコースです。国際経営論・国際金融論・国際物流論・国際人事・国際マーケティング・国際会計論などの科目や、アジア・アメリカ・EUといった地域研究の科目を開講。国際ビジネスの第一線で活躍する実務家を招いた講義では、国際経営に関する具体的な事例を学ぶことができます。

マーケティングコース

講義と討議を中心としたマーケティング理論の学習と、実習を併用した定量的・定性的なデータ分析手法の習得をバランス良く配置。他大学院には見られない独自性があります。マーケティングの全体像を知るためのプログラムとして、また、現場体験と実務的知識を再構築する機会として活用できます。

詳細は、経営学専攻（夜間）ホームページ
<http://hbs.ws.hosei.ac.jp/> をご参照ください。

研究室紹介

新倉 貴士 教授

消費者の認知・感情・行動を起点としたマーケティング戦略の研究

消費者の認知的情報処理に基づくマーケティング研究

コモディティ化、サービタイゼーション、オムニチャネル、モバイルアプリ等々、マーケティングをめぐる様々な事柄が日々進展しています。ただ、こうした進展は今に始まったことではありません。マーケティングは常に、こうした進展にうまく対応しながら進化を続けています。そのためには何が必要でしょうか。そうです、こうした進展に対応できる「確固たる基盤」です。本研究室では、マーケティングの根幹となる「消費者ニーズ」を捉える消費者の認知メカニズムをその基盤としています。ゼミでは常に、「Get Back to the Basics!」の精神です。毎回、「消費者ニーズはいかにあるか」を問い続けています。

STUDENT'S VOICE



修士課程 2013年度修了

鈴木 実

特定医療法人 寿栄会
有馬高原病院
理事・法人本部長

実業界で活躍している方々との出会いは
人生の財産になります

学んだこと、身に付いたこと

知識技術の習得はもちろんのこと、プレゼンテーションでのスピーチに自信が持てるようになりました。また、現職で苦手であった業務分析やインタビュー調査、統計資料の作成等など実務にとっても役立っています。さらに卒業後にも指導教授との関わりは継続されており、講演会の開催や勉強会での学びは今でも定期的に実践しています。

将来の目標

現在関わっている「ありまこうげん未来構想プロジェクト」は、医療介護福祉のまちづくりをテーマに地域に必要なとされる医療福祉サービスのあり方を検討し、新たな事業サービスの提供を構築していきます。法人が地域交流活動で目指している「地域の交流人口を増やす」取り組みと併せて新規事業を推進していきたいと思っています。自身の目標として、病院経営のプロフェッショナルを目指します。

研究テーマ 療養環境改善／医療介護福祉サービス／勤務環境改善

経営学研究科

専任教員と主な担当科目

（2017年度）※年度により授業を持たない場合があります。

< 企業家養成コース >

稲垣 京輔 教授	専攻 ：経営組織論、事業創造論
研究テーマ： 企業家活動と事業創造・中小企業経営における経営者の実践	
担当科目： 企業家養成演習、企業家活動	
近能 善範 教授	専攻 ：イノベーション・マネジメント
研究テーマ： 企業間関係とイノベーション、自動車産業のサプライヤー・システム	
担当科目： 経営学原理、経営学演習、企業家養成演習、イノベーション・マネジメント概論	
吉田 健二 教授	専攻 ：経営戦略論
研究テーマ： 経営戦略の策定と実行	
担当科目： 企業家養成演習、ワークショップ（企業家養成）	

< 国際経営コース >

安藤 直紀 教授	専攻 ：国際経営戦略論
研究テーマ： 海外子会社の経営戦略、新興経済での経営戦略	
担当科目： 国際経営特論、経営学演習	
藤澤 利治 教授	専攻 ：ヨーロッパ経済論、ドイツ経済論
研究テーマ： EUにおける通貨経済統合の分析、ドイツ統一の経済分析、ドイツ産業の史的分析	
担当科目： 国際経営演習	
横内 正雄 教授	専攻 ：金融史・国際金融論
研究テーマ： イギリス系国際銀行の東アジアにおける活動の歴史的研究、国際通貨危機に関する実証的研究、香港の金融システムに関する研究	
担当科目： 国際金融論	

< 人材・組織マネジメントコース >

小川 憲彦 教授	専攻 ：経営管理論、組織行動論、キャリア論
研究テーマ： 個人の組織適応、組織の適応施策、組織適応と組織変革	
担当科目： 人材・組織マネジメント演習、キャリアマネジメント論	
岸 真理子 教授	専攻 ：経営情報論、経営組織論
研究テーマ： 組織能力と情報技術、組織コミュニケーションとメディア、組織ネットワークと意味形成	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	
佐野 嘉秀 教授	専攻 ：人的資源管理論、産業社会学
研究テーマ： 雇用区分の組み合わせと人材マネジメント、非典型雇用の働き方とキャリア	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	
西川 真規子 教授	専攻 ：組織行動論、経済社会学
研究テーマ： 就労意識、ジェンダーと労働、労働と生活	
担当科目： 人材・組織マネジメント演習、組織行動論	

< マーケティングコース >

木村 純子 教授	専攻 ：サービス・マネジメント論
研究テーマ： 地理的表示法、農作物マーケティング、地域活性化	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	
竹内 淑恵 教授	専攻 ：マーケティング論、広告論
研究テーマ： マーケティング・コミュニケーション効果、ブランド・マネジメント、ソーシャルメディアにおけるコミュニケーション効果	
担当科目： マーケティング演習、マーケティング論、博士演習Ⅲ A・B	
新倉 貴士 教授	専攻 ：消費者行動論
研究テーマ： 消費者情報処理モデル、消費者認知、ブランドマーケティング	
担当科目： 経営学演習、マーケティング演習、消費者行動論	
横山 斉理 教授	専攻 ：流通システム論
研究テーマ： 日本の商業と流通、小売業の顧客満足	
担当科目： マーケティング特論	

< アカウンティング・ファイナンスコース >

大下 勇二 教授	専攻 ：財務会計、国際会計、税務会計
研究テーマ： フランス会計制度研究、税務会計における会計基準の利用問題	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	

金 容度 教授	専攻 ：日本経営論、日本経営史、企業間関係論
研究テーマ： 日米の企業システムの比較研究、企業間関係論	
担当科目： 企業家養成演習、企業間関係論、博士演習Ⅲ A・B	
福島 英史 教授	専攻 ：戦略的意思決定論
研究テーマ： 企業戦略と組織、技術革新に関する研究	
担当科目： 企業家養成演習、経営学基礎	

< 二階堂 行宣 准教授 専攻：日本経営史、日本経済史 >

二階堂 行宣 准教授	専攻 ：日本経営史、日本経済史
研究テーマ： 日本の鉄道事業経営・運輸政策に関する歴史的研究	
担当科目： 企業家史	

高橋 理香 教授	専攻 ：国際経済学、理論経済学
研究テーマ： 貿易政策に関する理論および実証研究	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	

洞口 治夫 教授	専攻 ：国際経営論、経営戦略論
研究テーマ： 日本企業の海外直接投資、多国籍企業の経営戦略、イノベーションとクラスター、FTAの理論的・実証的研究	
担当科目： 国際経営論、経営学演習、博士演習Ⅱ A・B	

李 瑞雪 教授	専攻 ：ロジスティクス論、国際経営論
研究テーマ： 新興国市場におけるロジスティクス戦略と新興国物流産業の高度化	
担当科目： 経営戦略特論、経営学演習、国際経営演習、ワークショップ（国際経営）、博士演習Ⅱ A・B	

奥西 好夫 教授	専攻 ：労働経済学、人事・組織の経済学
研究テーマ： 人事制度、雇用システムの統計分析、国際比較	
担当科目： 人材・組織マネジメント演習	

佐野 哲 教授	専攻 ：労働市場論、雇用政策、経営社会政策
研究テーマ： 人材ビジネスなど労働需給システムに関する研究、国際労働移動ならびに外国人労働者受け入れ問題に関する研究、雇用・労働分野の規制緩和と政策に関する研究	
担当科目： 人的資源管理特論、人材・組織マネジメント演習	

長岡 健 教授	専攻 ：組織社会学、経営学習論
研究テーマ： 組織工学ノグラフィー、ワークブレイスにおける学習	
担当科目： 人材・組織マネジメント演習、ワークショップ（人材・組織マネジメント）、博士演習Ⅱ A・B	

小林 健一 教授	専攻 ：広告論、マーケティング論
研究テーマ： コーポレートブランド、企業広告史	
担当科目： ワークショップ（マーケティング）	

田路 則子 教授	専攻 ：品開発論
研究テーマ： ハイテク産業におけるイノベーション・マネジメント、ハイテク・スタートアップの成長プロセス	
担当科目： 製品開発論、博士演習Ⅲ A・B	

西川 英彦 教授	専攻 ：マーケティング・リサーチ論
研究テーマ： デジタルマーケティング、ユーザーイノベーション、ソーシャルメディア	
担当科目： 経営学演習、マーケティング演習、マーケティング・リサーチ論、博士演習Ⅲ A・B	

長谷川 翔平 准教授	専攻 ：マーケティング・サイエンス
研究テーマ： マーケティングデータの統計解析	
担当科目： マーケティング演習	

神谷 健司 教授	専攻 ：財務会計
研究テーマ： 中小企業の会計基準のあり方、会計教育プログラムの研究	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	

Graduate School of Business Administration
Major in Business Administration

川島 健司 教授	専攻 ：財務会計
研究テーマ： 資産の時価測定に関する実証的研究、資産評価の会計基準分析、時価主義会計の学説研究	
担当科目： 財務会計論	

岸本 直樹 教授	専攻 ：ファイナンス
研究テーマ： オプション等のデリバティブの価格理論、資産の証券化に関する経済学的分析、住宅ローンの期限前償還	
担当科目： コーポレート・ファイナンス	

坂上 学 教授	専攻 ：財務会計
研究テーマ： 事象アプローチによる会計ディスクロージャーの拡張、財務数値の分布特性に関する研究	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	

筒井 知彦 教授	専攻 ：会計政策論
研究テーマ： 企業会計と利益計算	
担当科目： 財務会計特論、会計学基礎	

福多 裕志 教授	専攻 ：経営分析
研究テーマ： 日米企業の財務位相分析	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	

北田 皓嗣 准教授	専攻 ：管理会計、社会環境会計
研究テーマ： サステイナビリティ経営戦略、エコ・プロダクツ、MFCA	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	

< コース共通 >

稲垣 保弘 教授	専攻 ：経営管理論、経営組織論
研究テーマ： 組織の解釈学、経営の解釈学	
担当科目： ※今年度は、特定の科目を担当しません	

豊田 敬 教授	専攻 ：統計学、経済学
研究テーマ： 不平等解析、決定理論	
担当科目： 統計学	

林 直嗣 教授	専攻 ：金融論、理論経済学、応用計量経済学、経済政策論
研究テーマ： 金融とマクロ経済の理論的・実証的・政策的研究	
担当科目： 金融論	

大木 良子 准教授	専攻 ：産業組織論、法と経済学
研究テーマ： 競争政策の経済分析	
担当科目： 産業組織論	

設置科目（2017年度）※開講科目は年度により異なります。（ ）内は単位数

〔修士課程〕	財政論（4） 国際経済学（4） 国際金融論特論（4） アメリカ経済論（4） ヨーロッパ経済論（4） 産業組織論（4） 産業集積論（4） 流通システム論特論（4） 日本経済特論（4） 企業間関係論（4） 交通経済論（4） 統計学（4） 計量経済学（4） 消費者行動論特論（4） 会計理論（4） 財務会計特論（4） 原価計算論（4） 原価管理論（4） 監査論（4） 会計政策論（4） アメリカ会計学（4） 国際会計基準論（4） 租税法（4） ミクロ経済論（4） マクロ経済論（4） 労働経済学（4） 金融論（4）	国際経営演習（2） ワークショップ（国際経営）（4） 国際経営論（4） 地域経済研究（アメリカ）（4） 地域経済研究（EU）（4） 地域経済研究（アジア）（4） 国際人事（2） 国際マーケティング論（2） 国際物流論（4） 国際会計論（4） 交通経済論（4） 統計学（4） マケティング特論（4） 消費学演習（4） 企業家養成演習（2） ワークショップ（人材・組織マネジメント）（4） 人的資源管理論（4） 人材育成論（4） キャリアマネジメント論（4） 人事制度論（4） 労働市場論（4） 労使コミュニケーション論（4） ベンチャー・ファイナンス論（4） イノベーション・マネジメント概論（4） 企業家養成特殊研究（2） ベンチャー・ファイナンス監査論（4）	国際経営演習（2） ワークショップ（マーケティング）（4） マーケティング論（4） 消費者行動論（4） マーケティング・リサーチ論（4） 製品開発論（4） マーケティング・サイエンス論（4） サービス・マネジメント論（4・2） 流通システム論（4） 物流政策論（4） マーケティング特殊研究（4・2） アカウンティング・ファイナンス（4） ファイナンス演習（2） ワークショップ（アカウンティング・ファイナンス）（4） 管理会計論（4） 財務会計論（4） 税務会計論（4） 会計情報論（4） 経営分析（4） 基礎ファイナンス（4） 実証ファイナンス入門（4） インベストメント理論（4） コーポレート・ファイナンス（4・2） 企業評価論（4） アカウンティング・ファイナンス特殊研究（4・2）	経営学基礎（4・2） 会計学基礎（2） ファイナンス入門（2） 経済学基礎（2） 産業基礎（2） 日本経済論（4） 日本経済基礎（2） 情報学特論（2） 情報技術特論（2） e-ビジネス論（2） 統計データ解析（4） 企業法（4） 日本経営学（4） 外国語経営学特殊研究（4・2） 外国語経営学特殊講義1/2（各2）	〔博士後期課程〕	博士演習Ⅰ A・B/Ⅱ A・B/Ⅲ A・B(各2) 博士コースワークショップⅠ A・B/Ⅱ A・B/Ⅲ A・B(各1)
--------	--	---	--	--	----------	--